

UCEENET School of Industry

化学メーカーでの技術者の辿る生産現場から 事業マネジメントまでの事例紹介

- 私は何故化学会社を志望したのか？
- 会社の仕事を通して始めて知ったこと
- これからの皆さんに期待すること

2010年7月19日

田中 稔

入社前の志望動機からの検証

- 学生時代に会社の真の中身まで理解することは不可能に近い。
- 時代を超えて生き残る者は、強い者ではなく、変化に対応できる能力を有する者である。
- 会社の求める研究テーマは日々変化する。
学生の希望するテーマと会社の求めるテーマが一致することは稀である。
- 基礎学力(国語、数学、化学、物理、英語)があれば、柔軟に対応できる。
- 学生時代の専門性に比べて、会社に入社後に学んだ知識の方が遥かに多く内容も深い。

皆さんに考えて欲しいこと

- 1、大学を出て何がしたいのか？
自分では何が出来るのか？ 得意なもの？
基礎学力、特に語学力(英語、中国語など)は磨いて欲しい。
- 2、海外を知って欲しい。
国際学会での主役は今やアジア人
(中国、インド、韓国、東南アジア ……
残念ながら日本人学生の姿は乏しい)
- 3、皆さんの大学は 日本の拠点となる大学
研究環境、経済的支援、卒業生、周囲の目…
他大学に比べて非常に恵まれている。
- 4、会社選択では その会社の社風・文化・歴史などに
自分自身が共鳴できるか感じて欲しい。

私から皆さんへの期待

Sense of Survival

❖ 茹でガエル

ぬるま湯の中にいると、幸せなので何の
行動もしないまま死んでしまう。



カエルにポジティブな行動を取らせる！

近くに蛇を出現させる

壁をぶち破る意識改革 と 行動力